

平成 29 年度事業報告書

(平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで)

公益社団法人とやま被害者支援センター

<p>1 相談事業</p>	<table border="1" data-bbox="454 342 1348 443"> <thead> <tr> <th>H27 年度</th> <th>H28 年度</th> <th>H29 年度</th> <th>前年度比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>354 件</td> <td>265 件</td> <td>247 件</td> <td>-18 件(-6.8%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(1) 稼働状況 月曜日～金曜日 10:00～16:00 (年末年始、祝日を除く。)</p> <p>(2) 相談活動の内訳等 ア 相談 247 件中、電話相談が 220 件、前年度比-28 件(-11.3%)と減少した。一方で面接相談が 27 件、前年度比+10 件(+58.8%)と増加した。 イ 被害区分別では、性犯罪・交通事故で減少した一方で、暴行・傷害等が増加した。</p> <p>(3) 無料法律相談等 ア 平成 29 年度中は、2 件(前年度比 ±0)であった。 月 1 回の無料法律相談の実施について、HP や富山市の広報紙等を通じて広報した。 イ 臨床心理士等による心理相談はなかった。</p>	H27 年度	H28 年度	H29 年度	前年度比	354 件	265 件	247 件	-18 件(-6.8%)				
H27 年度	H28 年度	H29 年度	前年度比										
354 件	265 件	247 件	-18 件(-6.8%)										
<p>2 直接的支援事業</p>	<table border="1" data-bbox="454 1162 1372 1263"> <thead> <tr> <th>H27 年度</th> <th>H28 年度</th> <th>H29 年度</th> <th>前年度対比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>28 回</td> <td>35 回</td> <td>12 回</td> <td>-23 回(-65.7%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(1) 支援内容 付添(公判傍聴、検察庁、警察等)、代理傍聴、自宅訪問の実施等</p> <p>(2) 減少理由 ここ数年、継続して支援してきた重要事件が結審したことや、新たな相談又は直接的支援につながる身体犯等支援案件の発生が減少したためとみられる。</p> <p>(3) 広域連携支援活動の推進等 ア 関係機関、他県被害者支援センターとの連携した支援、犯罪被害の広域化に対応した被害者支援活動を推進 イ 犯罪被害者等早期援助団体としての警察からの情報提供件数は 5 件、対前年対比+2 件と増加、情報提供件数の累計は 21 件となった。</p>	H27 年度	H28 年度	H29 年度	前年度対比	28 回	35 回	12 回	-23 回(-65.7%)				
H27 年度	H28 年度	H29 年度	前年度対比										
28 回	35 回	12 回	-23 回(-65.7%)										
<p>3 自助グループ支援事業</p>	<table border="1" data-bbox="446 1930 1348 2076"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>H28 年度</th> <th>H29 年度</th> <th>前年度対比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施回数</td> <td>11 回</td> <td>10 回</td> <td>-1 回(-9.1%)</td> </tr> <tr> <td>延べ参加者数</td> <td>43 人</td> <td>35 人</td> <td>-8 人(-18.6%)</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	H28 年度	H29 年度	前年度対比	実施回数	11 回	10 回	-1 回(-9.1%)	延べ参加者数	43 人	35 人	-8 人(-18.6%)
区 分	H28 年度	H29 年度	前年度対比										
実施回数	11 回	10 回	-1 回(-9.1%)										
延べ参加者数	43 人	35 人	-8 人(-18.6%)										

- ア 行事の重なった5月・11月を除く、年10回の開催としたほか、うち1回を屋外(環水公園)で開催するなど、運営に創意と工夫を凝らした。
- イ 現在、自助グループは7名構成で、うち月1～2名が参加、当センターの支援活動ボランティア等が交替で運営の支援等に当たった。

4 広報啓発事業

区 分	H27 年度	H28 年度	H29 年度	前年度対比
広報活動	34 回	33 回	56 回	+23 回(+69.7%)
啓発活動	37 回	35 回	39 回	+ 4 回(+11.4%)
計	71 回	68 回	95 回	+27 回(+39.7%)

(1) センターだよりの発行

- ア 4月(24号)、8月(25号)、12月(26号)の年3回、各3,500部を発行、会員のほか、関係機関・団体に送付し、活動状況等について広報した。
- イ 表紙絵は、射水市在住の日展会員の野上^{ただまる}氏(10月23日死去)に依頼

(2) 各種広報紙の作成配布

- ア リーフレット、チラシ
 - 三つ折りセンターリーフレット 4,500枚
 - センター活動チラシ 5,000枚
- イ ポスター、チラシ
 - 命の大切さを学ぶ教室ポスター 300枚 同チラシ 500枚
 - 作文コンクールポスター 200枚 同チラシ 400枚
 - 週間行事(講演会&コンサート)ポスター 700枚 同チラシ 6,000枚
 - センターメインポスター 200枚 同チラシ500枚

(3) 広報パネルの制作・展示

- ア メインパネル(幕大1枚) 市町村巡回パネル展・週間行事に展示活用
- イ 活動案内パネル(中5+2枚) 同 上
- ウ 合同市町村巡回パネル展

巡回市町村	期間	延べ日数	閲覧者	動員人員
15市町村	8/21～1/12	80日	1,825人	65人

(注)被害者週間行事「講演会&コンサート」会場パネル展 参加者255人

(4) 広報啓発物品の作成・配布

- ア ウエットティッシュ 6,000枚(各種行事・街頭配布)
- イ 団扇 1,000枚(県警音楽隊演奏会)
- ウ 携帯カイロ 5,000個(警察→地域住民)
- エ 卓上カレンダー 600冊(週間行事参加者・法人賛助会員)
- オ 不織マスク(2枚1組) 6,000枚(個人賛助会員)

(5) ホームページの更新及び改修

- ア 4月、6月、8月、10月、1月、3月の年6回 掲載内容を更新
- イ 開設以来11年振りの改修(画面のワイド化・スマホQRコード化等)

(6) 公共交通機関有料広告パネル掲示広報

富山市街地を周る市内電車に広告パネルを掲示 大小各1枚(半年・1年)

(7) 「講演会&コンサート」の開催

- ア 日時 平成29年11月25日(土)13:00~16:00
- イ 場所 高岡市末広町 高岡市生涯学習センター(ウイング・ウイング高岡内)
- ウ 主催 公益社団法人とやま被害者支援センター
- エ 後援 県、県警察、(公財)県交通安全協会、(公財)県防犯協会、県犯罪被害者等支援協議会、高岡市教育委員会

オ 参加 255名

カ 内容

第1部

- 開会挨拶(理事長)、来賓祝辞(警察本部警務部長)
- 「命の大切さを学ぶ教室」作文コンクール表彰、最優秀作品朗読
・最優秀作2点 ・優秀作4点 ・佳作7点

第2部

- 講演・講師~グリーンパートナー“歩”代表 本郷由美子さん
・演題~『いのちの重さを見つめ続けた16年~愛しみと共に生きる~』
- コンサート~高岡市立野村小学校ウインドアンサンブル

(8) 街頭広報(配付・呼び掛け)

ア 日時・場所

11月17日(金)7:30~あいの風高岡駅 11月24日(金)7:30~JR富山駅

イ 活動参加者・配布部数

- 県警察、県被害者等支援協議会、学生ボランティア、富山市・高岡市と協働
- あいの風高岡駅700部(5人) JR富山駅1,500部(8人)

(9) とやま被害者支援センター及び電話相談等支援活動の周知広報

JR富山駅前地下通路及び富山県内15市町村、関係機関・団体等にポスター及びチラシを送付し、掲示を依頼

(10) 市町村広報誌への有料広告等掲載

黒部市、滑川市、上市町、高岡市、氷見市、南砺市、小矢部市の広報誌の有料広告欄に当センター活動周知広告を掲載 年各3回+3市町村=24回

市町村	延べ回数	配布部数	経費
6市1町	7×3+3	1回 319,800部	432,500円

(注)富山市報に毎月、滑川市・射水市報に電話・法律相談日程を無料掲載

(11) 県内行事・会議等の効果的活用

ア 関係機関・団体主催行事におけるチラシ等の配布

- ・ 8月6日：警察音楽隊定期演奏会 ・ 9月5日：交通安全県民大会
- ・ 10月2日：地域安全県民大会 ・ 11月15日：暴力追放県民大会

イ 各種キャンペーンにおけるチラシ等の配布

- ・ 7月20日、9月1日：迷惑防止条例施行キャンペーン
- ・ 10月17日：女性被害防止キャンペーン

ウ 各種会議等における事例報告等を通じた広報啓発

- ・ 10月10日：第5回人身安全関連事案対応に関する意見交換会
- 10月24日：司法支援センター富山地方協議会

5 支援員の養成・支援スキルの向上

(1) 継続研修等

区分	H28年度	H29年度	前年度比
実施回数	23回	24回	+1回(+4.3%)
延べ受講者数	186人	189人	+3人(+1.6%)

当センターの大久保理事をはじめ、全国ネットワークコーディネーター、臨床心理士、保護観察官、警察職員等を講師として招聘し、各種研修活動を行い支援活動ボランティア等のスキルアップに努めた。

ア 継続研修(年7回 85人参加)

6月20日、7月25日、9月19日、10月17日、1月16日(2回)、2月20日

イ 事例検討会(年7回 57人参加)

6月2日、7月7日、8月4日、9月8日、11月2日、12月1日、2月2日

ウ 養成講座への参加・聴講

5月22日から同26日までの間、延べ10回(13時限)の講座に、新規採用の5人を含むボランティア活動員延べ47人が参加・聴講した。

エ その他

事務局研修・意見交換会 12月19日、3月24日 延べ35人参加

(2) 外部研修

区分	H28年度	H29年度	前年度比
参加回数	15回	27回	+12回(+80.0%)
延べ受講者数	31人	113人	+82人(+264.5%)

ア 県内研修

- 富山県開催「性暴力被害者支援講座」

9月10日から2月25日までの間、延べ12回 計52名受講

- とやま被害者支援センター週間行事講演 11月25日 19名聴講
- 女性財団開催 DV防止啓発講座 11月28日 4名受講
- 相談対応スキルアップ研修会 1月12日、2月16日 9名受講

イ 県外研修

- 8月21日～25日 都民センター(東京) 1名参加
- 9月23日 グリーフ特別講習会(東京) 1名参加
- 10月18日 Wi11(大阪) 2名参加
- 2月5日～9日 都民センター(東京) 1名参加
- 2月17日 性暴力講演会(名古屋) 1名参加

ウ 全国被害者支援ネットワーク行事・研修等への参加

- 全国事務局長研修・同会議 4月21日 1名参加
- 東海・北陸ブロック事務局長会議 9月20日 1名参加
- 被害者支援セミナー 6月7～8日 1名参加
- フォーラム・研修
 - ・ 全国フォーラム 平成29年10月6日 5名参加
秋期全国研修 平成29年10月7～8日 8名参加
 - ・ 東海・北陸ブロック質の向上研修
 - 前期 平成29年7月23～24日 4名参加
 - 後期 平成30年2月17～18日 4名参加
 - ・ 支援活動会議 平成29年8月4～5日 1名参加

(3) 新規ボランティアの募集及び採用時研修

4月中(～5月19日まで延長)、HP、新聞、市町広報紙等を通じて募集。応募者に対して面接の上、研修(養成講座)を実施した。

- 5月22日 開講式、センターの活動概要、カウンセリングの基本
- 5月23日 自治体の被害者支援、被害者支援の実際
- 5月25日 被害者支援の意義・発展、性被害者の理解
- 5月26日 検察における被害者支援

なお、講座受講者5名を支援活動ボランティアとして委嘱した。

6 財政基盤
の整備

(1) 賛助会

ア 賛助会員

(人)

区 分		H28年度	H29年度	前年度比
団体(企業・法人)		222	236	+14(+6.3%)
個人	警察職員	2,257	2,243	-14(-0.6%)
	一般、警OB	235	258	+23(+9.8%)
	小 計	2,492	2,501	+9(+0.4%)

・団体賛助会員は、36団体が新たに入会したが、一方で22団体が退会(未納)し、前年度比14団体の増となった。

・個人賛助会員は、前年度比9人の増となった。

イ 賛助会費 (円)

区 分	H28 年度	H29 年度	前年度比	
団体(企業・法人)	2,555,000	2,910,000	+355,000	
個人	警察職員	4,514,000	4,486,000	- 28,000
	一般、警OB	861,000	832,000	- 29,000
	小 計	5,375,000	5,318,000	- 57,000
合 計	7,930,000	8,228,000	+298,000	

- ・賛助会費収入は 8,228,000 円で、前年度比 298,000 円の増となった。
- ・予算比で 1,428,000 円の増となった。

(2) 支援募金箱

区 分	H28 年度	H29 年度	前年度比
募金箱設置数	68 個	68 個	± 0 個(±0.0%)
募 金 総 額	90,494 円	152,821 円	+ 62,327 円(+68.9%)

- ・支援募金箱は、各自治体、警察署、事業所等の協力を得て窓口に設置しており、9月の回収時に合わせて全募金箱を新たなものに替えた。

(3) 支援自動販売機

区 分	H28 年度	H29 年度	前年度比
設置台数	42 台	41 台	- 1 台(- 2.4%)
金 額	218,529 円	692,704 円	+474,175 円(+217.0%)

- ア 支援条例の施行を機に、県庁内に新たに 1 台設置されたが、他での廃止が 2 台あったため前年度比減となった。

- イ 金額については、H28 年度中の未納金(230,738 円)が入ってきたため、大幅増となった。

(4) 寄付・募金活動

- ア 南砺・小矢部・入善の各警察署、警察本部機動隊からのチャリティ募金、個人・団体(匿名)からの寄付金として計 114,677 円を受けた。

- イ 高岡内で開催の週間行事「講演会&コンサート」会場において募金活動を行った結果、31,923 円の募金があった。(11 月 25 日(土))

(5) ホンデリング活動等

- ア 不要となった本の寄贈を受け、その売却した 2,371 冊分の代金 46,643 円を寄付金(雑控除 432 円)として受け取った。これらは、高岡署をはじめとする県警察職員や賛助会員、支援活動ボランティア等からの持ち込み協力であった。

- イ イオン高岡での黄色いレシートキャンペーンにおいて、10,900 円の寄付金を受け取った。

<p>7 関係機 関・団体と の連携</p>	<p>(1) 県</p> <p>ア 犯罪被害者等支援協議会発足準備会(7月19日 県民会館 事務局長)</p> <p>イ 犯罪被害者等支援第1回協議会 (8月24日 県民会館 理事長)</p> <p>(2) 県警察</p> <p>ア 第5回人身安全関連事案対応に関する意見交換会(10月10日 県警本部)</p> <p>イ 「命の大切さを学ぶ教室」等の開催</p> <p>○ 命の大切さを学ぶ教室 9回開催 聴講者2,394人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校 1校 217人 ・高校 5校 1,972人 ・専門学校・大学 2校 155人 ・ネットワーク 1団体 50人 <p>○ 命の大切さを学ぶミニ教室 (DVDの上映、14歳の挑戦)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校:55回 <p>○ 作文の募集及び表彰</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本教室を受講した中・高校生から作文を募集、中学生及び高校生の部で各7編を優秀作として表彰し、最優秀の2点について記念式典で朗読した。 ・全国作文コンクールにおいて、本県の最優秀作2点が警察庁被害者支援室長賞を受賞した。 <p>ウ 各被害者支援ネットワーク総会</p> <p>6月14日黒部、10月4日小矢部、11月10日富山、12月5日氷見、1月25日魚津、2月22日黒東の各被害者支援ネットワーク総会に出席、当センターの活動状況等を報告するなど連携を図った。</p> <p>エ 警察相談課との支援連絡会議</p> <p>4月14日、8月1日、10月30日、11月5日支援センター等で開催</p> <p>オ 警察学校「被害者支援専科生」の訪問</p> <p>12月5日 専科生(警察官)18名 当センターの活動概況等を説明</p> <p>(3) 地方検察庁等との連絡会議</p> <p>地方検察庁、保護観察所、法テラス、鑑別所等との定期連絡会議の開催 (5月23日、7月25日、9月26日、11月28日、1月23日:出席者延べ45人)し、情報交換と連携強化を図った。</p> <p>(4) 関係機関・団体・地域を対象とした講演等</p> <p>ア 日本市民安全学会全国大会(7月15日、高志会館:能島元職員)</p> <p>イ 富山保護観察所職員研修(10月18日:森支援員)</p> <p>ウ 富山刑務所(7月6日、11月16日:高倉講師)</p>
--------------------------------	--

<p>8 人的基盤の充実確保と委託事業</p>	<p>(1) 人的基盤等の充実強化 県支援条例の施行に伴い、県警察からの支援・広報等委託事業で人的基盤の強化として 支援活動責任者 森 康 子 常勤職員 支援員(研修担当) 酒 井 雅 子 非常勤職員(週4日) の2人を採用し、1名を支援副責任者、1名を研修担当者として支援活動の充実強化を図った。</p> <p>(2) 支援事業強化のための資材整備 人的基盤の充実強化に合せ、電話相談支援事業の強化推進のため、新たに電話器1台を追加整備するとともに、かかる交換機等電話装置一式を整備(更新)した。</p>
<p>9 理事会・総会の開催</p>	<p>(1) 理事会 ア 第1回理事会 平成29年5月19日 とやま自遊館 ・平成28年度事業・決算報告、業務執行報告 イ 第2回理事会 平成29年6月10日 ・理事の推薦書面決議(みなし決議) ウ 第3回理事会 平成29年6月15日 とやま自遊館 ・代表理事の選任 エ 第4回理事会 平成30年2月1日 とやま自遊館 ・平成29年度予算執行、規程改正、業務執行報告 オ 第5回理事会 平成30年2月16日 とやま自遊館 ・平成30年度事業計画・収支予算書(案)の承認 カ 第6回理事会 平成30年3月12日 とやま自遊館 ・事務局職員の採用及び平成30年度体制</p> <p>(2) 社員総会 ア 定時社員総会 平成29年6月15日 とやま自遊館 ・平成28年度事業報告・収支決算書の承認 イ 臨時社員総会 平成30年3月12日 とやま自遊館 ・平成30年度事業計画・収支予算書(案)の承認</p>
<p>10 当センターの視察</p>	<p>○ 4月14日 県防災・危機管理課長ほか 業務視察 ○ 5月26日 富山市議会議員3名(高田、高道、久保) 業務視察</p>